

# 平成 26 年 度 事 業 報 告 書

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会

## 社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会

### 平成 26 年度事業報告

## I 本部事業

すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消の推進することを目的として、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）が公布され、平成 28 年に施行される予定です。当法人としても職員の言葉遣いや態度など身近な問題から考えていく必要があると思い、これまで出来ていなかった法人の理念の明文化に法人全施設の幹部職員で取り組み、すべての職員に理念が共有できるように研修を行いました。

各施設とも少子高齢化により、ますます人口減少問題に直面するようになりました。とくに福祉活動の担い手が少なくなり、仕事の仕方も再構築し、必要な人材の確保に努めました。高齢の人や障害のある人、主婦層などさまざまな人の就労を促し、ソーシャルファームの実現に近づいています。

世界のチェシャーホームと連携し、東アジア太平洋地区チェシャーホーム委員会に属している日本のチェシャーホームとして、26 年度マレーシアのクアラルンプールで開かれた東アジア太平洋地区チェシャーホーム年次総会 BGM に参加し、各国と情報交換しました。

また、財団法人兵庫県心身障害児福祉協会（現公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団）から「社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会」を設立し、理事長を務めた今井鎮雄名誉顧問が 26 年 11 月 3 日に逝去し、「はりま自立の家」「はんしん自立の家」で、「お別れの会」をもちました。今井鎮雄名誉顧問の足跡をたどり、当法人の理念、活動のよりどころについて、思いを新たにしたところです。

### 1 施設運営

「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」は、入居者の加齢にともなう障害の重度化が進み、病院の入退院や通院が増えました。「かるがも園」は、前年度に多くの職員が退職し、さらに計画相談の仕事も加わり、新規に採用した職員で運営していくことが厳しい状況でした。各施設とも人材が不足し、常勤職員だけでなく、非常勤職員やアルバイトなども確保して、サービスの低下を防ぎました。

### 2 財務全般

平成 26 年度は前年以上の寄付金が集まりました。「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」も剰余金を残すことができた。「はんしん自立の家」は職員の充足ができず、その費用を含んで修繕積立金に繰り入れました。

### 3 施設・設備整備

各施設とも年数が経つにつれ、修理・修繕の箇所が多くなってきました。大規模な改修工事はありませんでした。

#### 4 理事会運営

第1回 平成26年5月16日(金) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事2名

議案 1. 平成25年度事業報告の認定 2. 平成25年度財産目録 貸借対照表 収支計算書の認定 3. その他

第2回 平成26年9月19日(金) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事6名、監事2名

議案 1. 平成26年度第1次収入支出補正予算の認定 2. 諸規則の変更について 3. 各種補助事業について 4. その他

第3回 平成27年1月7日(水) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事6名、監事2名

議案 1. 理事の委嘱について 2. 理事長の選任ならびに理事長職務代理者の選任について 3. 平成26年度第2次収入支出補正予算の審議 4. 「しろう自立の家」監査結果について 5. 児童発達支援センター「かるがも園」の保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業について 6. 諸規則の変更について 7. 各種補助事業について 8. その他

第4回 平成27年3月24日(火) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事1名

議案 1. 平成26年度第3次収入支出補正予算の認定 2. 平成27年度事業計画の認定 3. 平成27年度収入支出予算の認定 4. その他

#### 5 評議員会運営

第1回 平成26年5月16日(金) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員10名

議案 1. 平成25年度事業報告の審議 2. 平成25年度財産目録 貸借対照表 収支計算書の審議 3. その他

第2回 平成26年9月19日(金) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員10名

議案 1. 平成26年度第1次収入支出補正予算の審議 2. 諸規則の変更について 3. 役員の選任について 4. その他

第3回 平成27年1月7日(火) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員11名

- 議案 1. 理事の選任について 2. 監事の選任について 3. 平成 26 年度第 2 次  
収入支出補正予算の審議 4. 法人の理念について 5. 指導監査結果につ  
いて 6. 児童発達支援センター「かるがも園」について 7. その他

第 4 回 平成 27 年 3 月 24 日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員 9 名

- 議案 1. 平成 26 年度第 3 次収入支出補正予算の審議 2. 平成 27 年度事業計画の  
審議 3. 平成 27 年度収入支出予算の審議 4. 理事の退任と選任について  
5. その他

## 6 監事活動

監事監査 平成 26 年 5 月 15 日（木） 於 「はんしん自立の家」

## 7 海外チェンジャーホームとの交流及び国際交流

ラティテュード・ボランティアの受け入れ

平成 26 年 3 月～8 月

「はりま自立の家」「しそう自立の家」にオーストラリア・カナダより 2 名

「はんしん自立の家」にオーストラリア・カナダより 2 名

平成 26 年 9 月～平成 27 年 2 月

「はりま自立の家」「しそう自立の家」にオーストラリア・カナダより 2 名

「はんしん自立の家」にオーストラリアより 2 名

平成 27 年 3 月～現在

「はりま自立の家」にカナダより 1 名

「はんしん自立の家」に英国・オーストラリアより 2 名

## 8 研修及び施設連絡会議、その他活動

新会計移行にむけての勉強会

平成 27 年 1 月 22 日 於 「はんしん自立の家」

平成 27 年 3 月 10 日 於 「はんしん自立の家」

新入職員辞令交付式ならびに合同宿泊研修

平成 27 年 3 月 27 日～28 日

内 容 辞令交付式と研修 各施設等を見学

参加者 11 名

ケアマネジメント勉強会

内容 計画相談の活用、ケアプランのあり方、地域包括ケアをめざして

講師 柿木 達也 先生

場所 「はんしん自立の家」

26年4月27日、5月25日、7月6日、8月10日、9月7日、9月28日、  
10月26日、12月21日、27年1月18日、2月22日、3月21日

#### 法人合同中堅リーダー研修

内容 各施設の中堅職員を育てるためにリーダー研修を行いました。

講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生

場所 「はんしん自立の家」

26年7月3日、9月16日、10月14日、11月12日、12月19日、  
27年1月27日

#### 法人管理職研修（理念の明文化）

内容 社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会の理念の明文化を進めました。

講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生

場所 「はんしん自立の家」

26年9月9日、11月7日、27年1月13日、2月20日

施設連絡会議 法人理事長、理事、全施設長と幹部職員が各施設で当面する問題を協議し、その後、施設を見学し自主点検を行ないました。

平成26年4月22日 「かるがも園」

平成26年6月3日 「しそう自立の家」

平成26年8月14日 「はんしん自立の家」

平成26年9月9日 「はんしん自立の家」

平成26年9月29日 「はんしん自立の家」

平成26年10月9日 「はんしん自立の家」

平成27年1月13日 「はんしん自立の家」

平成27年2月20日 「はんしん自立の家」

平成27年2月26日 「はんしん自立の家」

## 9 調査研究事業

### 法人・施設経営研究

川原経営総合センター(東京都)と人事制度構築支援業務の委託契約を結び、理事長、理事、施設長、職員らが研究会や研修会を行ないました。

26年7月1日、8月6日、8月14日、9月29日、10月30日、11月13日、11月25日、  
27年1月15日、2月26日、3月13日

10 平成26年度重点事業  
理念の明文化

25年度に引き続き、管理職の能力開発、強化研修の一環として、LCC チーム経営  
長尾文雄さん博野英二さんの指導により、理念の明文化及び行動規範を作成。

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会の理念

私たちは、すべての人を尊び、互いに認め合い、寄り添い、支えあって、  
生きる喜びと希望に満ちた社会を創ります

そのために（大切にすること）

- ・レオナルド・チェシャー卿の精神に共鳴し、自由で安心できる、  
心ゆたかな時と場を大切にします。
- ・未来を見据え、制度、地域、障害の枠にとらわれることなく、フ  
ロンティア精神をもって、グローバルに活動します。
- ・喜びも悲しみも苦しみも、共に分かちあう、人と人との関係を大  
切にします。

行動規範（実行すること）

- ・今、しなければならぬこと、すぐに取り組みます。
- ・小さなことを大切に、いつも笑顔で丁寧に誠実に行動します。
- ・夢を持ち、高きを目指して、学び行動します。

新会計移行

新会計移行について、兵庫県所管課とも協議して経理規程を作成し、それに基づ  
き新会計移行準備を行い、平成 27 年 3 月 31 日を以って旧会計システムを終了さ  
せました。

新会計についての勉強会は、平成 27 年 2 月 28 日・平成 27 年 3 月 10 日に実施し  
ました。

求人人材育成

少子高齢化現象がいつそう顕著になり、新卒者の採用がたいへん困難になりまし  
た。外国人労働者の活用を検討し、導入準備を開始しました。また高齢者の活用  
も検討し、シルバー人材センターによる派遣労働者の受入準備を始めました。「か  
るがも園」では若手職員の労働管理も含めて中堅職員の発掘採用をすすめました。

#### 人事管理システムの稼働

平成24年度に実施した人事評価制度について、より適切な評価を実施するために、(株)川原総合経営センターの指導を得て、人事考課制度の見直しと、考課者の育成を行ないました。

平成26年度は試行実施とし、次年度の本格実施への準備を行ないました。

#### 東アジア・太平洋地区チェンジャーホーム年次総会出席

日時 平成26年10月17日～18日

場所 マレーシア クアラルンプール

入居者・理事・職員・ボランティアが出席しました。

#### 「かるがも園」の次年度活動の研究

三田市から三田市障害児療育センターの指定管理を受けている「かるがも園」について、27年度より新たに保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業についても実施するようにと要請され、新たな活動について研究しました。

#### 三田土地利用計画

従来より継続の農園活動に加えて、障害のある人の参加と土地利用を進めるために、車いすで散策可能な遊歩道整備を計画し、樹木伐採、道路拡幅等を行ないました。

#### その他

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と共催で、「子ども発達支援センター・さんだ」の活動のために、日本音楽財団の協力を得て、五嶋 龍ストラディヴァリウス・チャリティーコンサートを実施しました。

日時 平成26年11月20日

場所 郷の音ホール(三田市) 入場者 895人

## II 「はりま自立の家」

### 事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援・生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 居宅介護・重度訪問介護事業
- (D) 障害児通所支援事業
- (E) 福祉ホーム

## A)障害者支援施設「はりま自立の家」

施設の概要 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

所在地	兵庫県宍粟市一宮町伊和 8 7 2 番地 4 8		
敷地面積	9,334.54 m <sup>2</sup>	施設面積	3,417.36 m <sup>2</sup> (含職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日	昭和 56 年 11 月 1 日		
定員(現員)	施設入所支援 50 名(49 名)		
	生活介護 60 名(登録 73 名)		
管理者	鷲尾京子		

入居者、通所者の状況

施設入所支援	入所	1 名(福祉ホーム「ローズハウスはりま」から移行)				
生活介護	通所	24 名				
施設入所支援	障害程度区分	平均 5.6	平均利用者数	47 人	年間延べ	17,168 人
	平均年齢	50.1 歳	平均在所年数	22.2 年		
生活介護	障害程度区分	平均 5.4	平均利用者数	42.2 人	年間延べ	15,402 人
	平均年齢	44.4 歳				

日中活動プログラム 29 種(月間) 外出 年間 82 回 のべ 197 名参加  
旅行 10 回 20 名参加(東京、香川、京都、大阪、宝塚、西宮)  
通所で生活介護を利用されている方の外出機会を増やしました。

職員の状況

管理者 1 名、サービス管理責任者 2 名、生活支援員 40(20)名  
看護師 6(3)名、栄養士 3(1)名、調理員 3(3)名、事務員 2(1)名、  
医師 4(4)名、PT 等 3(3)名、宿直員 1(1)名 ( ) 内非常勤職員  
正職員 32 名 非常勤 1 種職員 6 名 2 種職員 23 名 3 種職員 7 名  
計 68(36)名 平成 27 年 3 月 31 日現在

正職員の採用なし。

生活支援員 育児休業終了復帰 2 名。1 種職員 1 名・2 種職員 3 名採用。1 名産休。

生活支援員補助 2 種職員 1 名退職、1 名採用。

調理員 1 種職員 2 名退職。1 種職員 1 名・2 種職員 1 名採用。

栄養士 2 種職員 1 名出向先より復帰。

施設財務の状況

26 年中は長期入院者もなく、財政は安定していました。建物、設備等築後 30 年を経過し、各所の修繕工事、設備費品の修繕、買い替えの支出が多くありました。



- ①介護機器の購入 新館トイレの天井走行リフト取り換え。介護リフトを医務室の診察用に設置。
- ②各所修繕 外部手すり・屋外エレベーターの塗装、アスファルト補修。A棟トイレにエアコン設置、男子トイレに和式トイレの増設、厨房トイレ等改修。
- ③器具什器の購入 記録用ソフトの買い替えとパソコンの購入

その他 重点事項等

職員の資質向上に向けて、法人研修、外部研修に参加させました。

介護職員によるたん吸引等の実施のための研修 1名

介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修 看護師 1名。

資格取得も奨励し介護福祉士 1名合格。ヘルパー2級取得者 1名、実務者研修終了 1名。

**(B)短期入所事業**

短期入所 利用実人員 障害者 27名、障害児 4名 利用延べ日数 1,243日  
 一日平均 3.4名

日中一時支援事業(宍粟市) 利用実人員 障害者 2名、障害児 15名  
 利用延べ日数 385日

利用者はほぼ固定して、定期的に利用されていました。27年1月はインフルエンザが入ったため、利用を中止していただきました。

日中ショートステイは放課後等デイサービスを実施していない日曜日・祝日の利用、放課後等デイサービスで定員を超える利用希望があった日、放課後等デイサービスのサービス提供時間外の早朝、夜間の利用が主となります。

**(C)居宅介護・重度訪問介護事業**

居宅介護	登録 4名	年間延べ派遣日数	1,326日
		年間延べ派遣時間	3,667時間
重度訪問介護	登録 7名	年間延べ派遣日数	1,960日
		年間延べ派遣時間	11,186.5時間
移動支援	登録 3名	年間延べ派遣回数	57回
		年間延べ派遣時間	111時間

職員の状況(平成27年3月31日現在)

管理者 1名、サービス提供責任者 1名、介護職員 9(5)名 ( )内非常勤職員

正職員 6名 非常勤 1種職員 3名 2種職員 2名 計 11(5)名

平成26年5月より福祉ホーム「ローズハウスはりま」の入居者が1名減ったため。9名への派遣となりました。一人に提供できるサービス時間が多くなり、充実したサービスが提供できました。1名が重度訪問介護より居宅介護に変更になったため、介護給付

費は増額となりました。

#### **(D)障害児通所支援事業「はりま自立の家児童デイサービス」**

児童発達支援 登録人数 20名 年間延べ訓練回数 414回  
宍粟市委託児童 11名 年間延べ訓練回数 43回

放課後等デイサービス 登録人数 27名 年間延べ利用回数 1,233回  
内 療育訓練 登録人数 10人 年間延べ訓練回数 163回  
内 療育訓練及びデイサービス 登録人数 7名 年間延べ利用回数 515回  
放課後等デイサービス 登録人数 10人 年間延べ利用回数 555回

職員の状況(平成27年3月31日現在)

管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士2(2)名、児童指導員1(1)名、  
指導員1(1)名、理学療法士2(2)名、作業療法士4(4)名、聴覚言語療法士2(2)名  
正職員2名 1種職員4名 派遣職員8名 計14(12)名

( )内非常勤及び派遣職員

放課後等デイサービスを利用されていた方で3名が特別支援学校を卒業され、2名が生活介護に移行、さらに2名は新しく開設された事業所を利用されるようになったため若干利用数は減少しましたが、他事業所が休みになる土曜日の利用は多くありました。療育訓練と重なる曜日は定員10名を上回ることがあったため、兵庫県の指導監査で定員を遵守するよう指摘を受けました。

宍粟市の療育委託事業は「児童発達支援サービス」への移行が早くなったため、利用人数は減少しているが、委託人数は変化していません。

#### **(E)福祉ホーム「ローズハウスはりま」**

施設の概要 (平成27年3月31日現在)

所在地 兵庫県宍粟市一宮町伊和863番地50  
敷地 1,445㎡(宍粟市より無償貸与)  
建物 木造平屋建て 709.06㎡  
事業開始年月日 平成18年10月1日  
定員(現員) 入所10人(9人)  
管理者 鷺尾京子  
職員 栄養士(兼務)1名

入居者の状況等

入居者 退所1名(「はりま自立の家」へ移行)

「ローズハウスはりま」の入居者1名が65歳になられ介護保険適用になるため、5月より「はりま自立の家」に移動されました。「はりま自立の家」より新たに入居を希望

されている方がありますが、家族の同意が得られず延期になりました。

隔月で武田忠治先生のお菓子教室、毎週英会話教室を開催。シニアボランティアグループ「ぶるうべりい会」が例会に利用されるようになりましたが、「ローズカフェ&ショップ」はあまり活性化できませんでした。

### Ⅲ 「はんしん自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業・児童短期入所事業・日中一時支援事業
- (C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)
- (D) トラファルガー・スクウェア (小規模作業所)

#### (A)障害者支援施設「はんしん自立の家」

施設の概要(平成 27 年 3 月 31 日現在)

所在地	兵庫県宝塚市美幸町 11 番 16 号		
敷地面積	3,447.88 m <sup>2</sup>	施設面積	2,702.74 m <sup>2</sup> (含職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日	昭和 60 年 7 月 1 日		
定員(現員)	定員 施設入所支援 50 名(50 名) 生活介護 60 名(51 名)		
管理者	石田英子		

入居者、通所者の状況

入所	2 名	退所	2 名		
生活介護	障害程度区分 平均 5.5	平均利用者数	49.5 人	年間延べ	13,311 人
施設入所支援	障害程度区分 平均 5.5	平均利用者数	48.7 人	年間延べ	17,792 人
	平均年齢	53.4 歳	平均在所期間	19 年 9 月	

職員の状況

管理者 1 名・サービス管理責任者 2 名・生活支援員 43 (24) 名  
看護師 3(1)名・栄養士 1 名・事務員 3 (1) 名、  
医師 4 (4) 名、介助員 1 名 計 57 名 ( ) 内非常勤職員及びアルバイト  
正職員 28 名 非常勤 1 種職員 7 名 2 種職員 9 名 3 種職員 4 名  
4 種職員 9 名 計 57 名 平成 27 年 3 月 31 日現在  
26 年度は正職員 2 人、非常勤職員 5 人採用、5 人退職しました。(4 種除く)

育児休業中 1 名、育児休業終了復帰 1 名。

#### 施設財務の状況

入居者の長期入院はあったが長期帰省がなく、利用率が高く、収入は安定していました。大規模な改修工事設備整備もなく、支出も安定していました。職員配置基準内であったが、職員の確保がたいへん困難になり、人件費を執行できず、剰余金が残りに修繕積立金もできませんでした。

#### 助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、新年獅子舞・サロンコンサートを開催しました。

#### その他 重点事項等

車輛の入れ替えを実施しました。

痰吸引等医療的ケア充実のための研修終了者 1 名

調理部門の委託を開始し、給食業者に食に関する理念を伝えつつ、食事の質の向上を図りました。

人材確保のため、非常勤職員・アルバイトを増員しました。外国人労働者の受入準備を開始しました。

ケアマネジメントの推進を円滑にするため、勉強会を開催しました。

地域交流事業を活発に行い、コンサート・勉強会を開催しました。平成 26 年 11 月 1 日、車いす甲山登山実施。平成 27 年 2 月 15 日こどもホスピス病院院長講演会等を開催しました。

#### **(B) 身体障害者短期入所事業・児童短期入所事業 日中一時支援事業**

登録人数 148 人 実利用人員 47 人 短期入所事業利用延べ日数 1,936 日

日中一時支援事業 延 19 人 実人員 1 人

#### **(C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)**

介護保険事業所「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成 17 年 5 月 1 日指定)

稼動 なし

障害者居宅介護「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成 17 年 5 月 1 日指定)

登録 3 人 週 7 日 334 時間稼動

宝塚市地域生活支援事業 移動支援

登録 1 人 2 時間

#### **(D) トラファルガー・スクウェア(小規模作業所)**

##### 施設の概要

所在地 兵庫県宝塚市高司 5 丁目 5-1

建物（借家） 66 m<sup>2</sup>  
事業開始年月日 平成 19 年 11 月 1 日  
定員（現員） 利用者 5 人以上（6 人）  
管理者 石田英子

#### 助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、かき氷機・プロジェクターを購入し喫茶メニューの拡大や、「絵本をよむ会」での映像の活用を行いました。

## IV 「しそ自立の家」

### 1. 事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 就労継続支援 B 型事業
- (D) 共同生活援助事業
- (E) 小規模作業所

### (A)障害者支援施設「しそ自立の家」

#### 施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野 502 番地 5  
敷地面積 5,598.14 m<sup>2</sup> 施設面積 2,705.93 m<sup>2</sup> (含グループホーム職員宿舎)  
施設認可・事業開始年月日 昭和 7 年 10 月 1 日  
定員（現員） 施設入所支援 50 名（45 名）  
生活介護 50 名（登録 61 名） ( )内は平成 27 年 3 月 31 日現在  
管理者 坂口信裕

#### 入居者、通所者の状況

施設入所支援 入所 1 名 退所 1 名（死亡）  
生活介護 施設入所支援の異動にともない退所 1 名（死亡）  
施設入所支援 障害程度区分 平均 4.9 平均利用者数 43.4 人 年間延べ 15822 人  
平均年齢 49.2 歳 平均在所期間 16.1 年  
生活介護 障害程度区分 平均 4.7 平均利用者数 37.0 人 年間延べ 13502 人  
平均年齢 46.3 歳

宍粟市より1名、在宅生活が困難になり10月に入所されました。  
開設当初からの入居者が、腎機能の治療のため10月から入院、1月に死亡されました。  
現在1名入院治療中。(12月に尿路感染、2月褥瘡が悪化)

#### 職員の状況

管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員35(17)名  
看護師2(2)名、栄養士2(0)名、調理員5(4)名、事務員2(1)名  
医師1(1)名 ( )内非常勤職員  
正職員24名 非常勤 1種職員4名 2種職員20名 3種職員1名  
計 49(24)名 平成27年3月31日現在

生活支援員 正職員1名採用。1名が育時休業に入った。1種職員1名を正職員として採用。  
栄養士 正職員1名が育児休業から復帰。2種職員1名「はりま自立の家」からの出向終了。栄養士兼調理員1名を1種職員から正職員として採用。  
2種職員が年度末までに3名退職。

#### 施設財務の状況

エレベーターの部品取替え工事を実施しました。

#### その他 重点事項等

東京おもちゃ美術館と無印良品が企画し、チェシャーズファクトリーが製造した「でんわのおもちゃ」で、店頭販売した商品の中から電話のボタンが外れる事故が起きました。対応として全品返品、全ボタンの取り付け直しを行い再出荷しました。その後クレームは入って来ていません。

木工おもちゃのセットをふるさと納税特産品(返礼品)選考にエントリーしました。27年度の返礼品として採用が決まりました。

J Aの提携ですすめているアスパラ生産は順調に進みました。27年度はアスパラの株を大きくするために収穫をせずに育てる年になります。

法人研修「中堅職員研修」を3名が受講した。

介護福祉士国家試験に2名が合格しました。

#### **(B)短期入所事業**

短期入所 利用実人員 11人 利用延べ日数 691日  
日中一時支援事業(宍粟市) 利用実人員 8人 利用延べ日数 75日

定期的な利用が増えました。8月から伊丹市より1名、ロングショートの利用が始まりました。

### **(C) 就労継続支援B型事業 「チェシャーパーカリー」**

#### 施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷 5 番地 1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成 20 年 4 月 1 日

定員（現員） 10 名（9 名）

管理者 坂口信裕

サービス管理責任者 1 名、職業指導員 1 名、生活支援員 2(1)名 ( )非常勤職員

正職員 3 名 非常勤 2 種職員 1 名

計 4(1)名

平成 27 年 3 月 31 日現在

ふるさと納税特産品（返礼品）に参加。年間約 160 件の申し込みがありました。消費期限内に届ける必要があり、離島からの申し込みには発送と受け取りの調整が困難でした。

26 年 11 月と 27 年 3 月に 2 名の方が利用を開始されました。

### **(D) 共同生活援助事業 「グループホーム「楽」**

#### 施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野 605 番地 1

敷地 912. 23 m<sup>2</sup>

事業開始年月日 平成 24 年 4 月 1 日

定員（現員） 利用者 7 人（7 人）

管理者 坂口信裕

サービス管理者（兼務）1 名、世話人 5（4）名 ( )非常勤職員

正職員 2 名 非常勤 1 種職員 1 名 2 種職員 3 名

計 6（4）名

平成 27 年 3 月 31 日現在

### **(E) 小規模作業所「チェシャージュップ」**

#### 施設の概要

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷 5 番地 1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成 18 年 11 月 1 日

定員（現員） 利用者 5 名以上（5 名）

管理者 坂口信裕

生活支援員 3（3）名 ( )非常勤職員

正職員 0 名 非常勤 1 種職員 1 名 2 種職員 2 名

計 3（3）名

平成 27 年 3 月 31 日現在

福祉ホーム「ローズハウス」からの通所は、6名から5名になりました。  
就労継続支援事業所への通所の練習のため、7月から2月まで1名利用されました。

#### 助成事業

宍粟市社会福祉協議会「平成26年度共同募金配分金事業」より配分を受け、店舗ロールカーテンの生地を取り換えを行ないました。

## V さんだ子ども発達支援センター「かるがも園」

#### 事業の内容

- (A) 児童発達支援センター「かるがも園」(三田市受託事業)
- (B) 児童発達支援事業「すくすく教室」(三田市受託事業)
- (C) 障害児等療育支援事業(兵庫県受託事業)・相談支援事業(三田市受託事業)  
・障害児相談支援事業・特定相談支援事業「さんだ子ども発達支援サービス」
- (D) 「子ども発達支援センター」の運営(法外施設)

#### (A)児童発達支援センター「かるがも園」

施設の概要(平成27年3月31日現在)

所在地	兵庫県三田市井ノ草808番地		
敷地面積	4,448.92㎡	施設面積	950.22㎡
施設認可・事業開始年月日	平成10年4月1日		
定員(現員)	30名(30名)		
管理者	平井真由美		

#### 通園児の状況

入園	13名	卒園・退園	12名	
平均利用児数	25.7人	年間延べ	5,686人	
	平均年齢	5.1歳	平均在籍期間	1.8年

#### 職員の状況

管理者1名、児童発達支援管理責任者2名、児童指導員・指導員3(10)名、保育士3名(6名)、看護師(3)名、栄養士兼調理員2名、事務員1(2)名、相談支援専門員兼児童指導員1名、相談支援員1名、用務員(2名)()内非常勤職員正職員14名 1種職員2名 2種職員21名 計37名 平成27年3月31日現在正職員6名、2種職員7名を採用し、年度内に7名が退職しました。



## 施設財務の状況

6月に伊丹労働基準監督署の調査があり、指導により平成26年2月16日より7月15日までの全職員に対する未支払時間外手当を支払いました。また、職員の業務時間短縮のために、パソコンによる記録システム構築費用が必要となりました。このため、三田市指定管理料を若干上回る支出となり、前期繰越金の取り崩しを行ないました。

## その他 重点事項等

児童発達支援管理責任者研修 1名修了。

職員の資質向上のために、LLCチーム経営によるコミュニケーション能力を高めるための研修を年3回実施しました。また、職員間の情報交換の機会を増やしました。

労働基準監督署の指導を受け、時間外指示簿を整備し、業務時間の管理を行ないました。パソコンによる記録システムを整備し稼働させることにより、業務効率化を図りました。職員の補充困難と調理技術低下により、調理業務を委託するため平成27年3月31日で調理部門を廃止しました。

児童発達支援センターへの移行に向けて、障害児相談支援事業・保育所等訪問支援事業の次年度からの実施について、三田市と協議を行ないました。

空調設備の入替（全体の約2分の1）と照明のLED化工事、厨房調理機器の入替が、三田市によって実施されました。

## **(B)児童発達支援事業「すくすく教室」**

登録人数 63人 実利用人員 55人 年間利用延べ人数 1,888人  
親子通園により、小集団での保育と療育訓練を実施しました。

## **(C)「さんだ子ども発達支援サービス」**

障害児等療育支援事業（兵庫県受託事業） 201件実施

相談支援事業（三田市受託事業） 582件実施

障害児相談支援事業・特定相談支援事業

サービス等利用計画策定・モニタリング 86件実施

## **(D)「子ども発達支援センター」の運営**

### 施設の概要

所在地 兵庫県三田市井ノ草字松ヶ崎 803番地・808番地、  
兵庫県三市長坂字北畑 160番の3

建物面積 429.4 m<sup>2</sup>

事業開始年月日 平成13年4月1日

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と協力し、療育事業の実施、療育研修会・

保護者研修会の開催、職員のための研修等を行ないました。建物定期調査を実施し、今後外壁塗装等の修繕が必要との指摘を受けました。